

2016年11月4日

本田技研工業株式会社埼玉製作所狭山工場殿向け
ガスエンジンコージェネレーションによる ESCO サービス契約の締結について

日本ファシリティ・ソリューション株式会社

当社は、本田技研工業株式会社埼玉製作所狭山工場（以下「Honda 狭山工場」）殿におけるコージェネレーション（以下「CGS」）リニューアル計画において、Honda 狭山工場殿と ESCO サービス契約を締結いたしました。サービス開始は2017年8月を予定しております。

本サービスについては、東京電力エナジーパートナー株式会社（以下「東京電力 EP」）が、CGS から発生する熱の徹底利用とエネルギーマネジメントシステムの導入による省エネルギー最大化を目指すご提案を行った結果、Honda 狭山工場殿から選定され、東京電力 EP の 100%子会社である当社が ESCO サービスとして実施するものです。

本サービスの実施にあたり、当社は、優れた発電効率・環境性能を持つ川崎重工業株式会社製「カワサキグリーンガスエンジン」（発電出力 7,800kW、発電効率 49.5%）の CGS を Honda 狭山工場内に設置し、同工場内で必要とされる電気と熱（蒸気や温水）を供給いたします。また、高効率 CGS の設置に合わせて排熱回収型ヒートポンプ等も設置することで、CGS から発生する熱を余すことなく利用し、省エネルギーの最大化を実現いたします。さらに、新設する熱源機器だけでなく既存の熱源機器まで含めた管理制御を行うエネルギーマネジメントシステムを構築することで、一元的なデータ管理と自動最適制御を行います。

本サービスの導入により Honda 狭山工場殿は、同工場内における約 7.5%の省エネルギー^{※1} および約 7.6%の CO₂ 排出量削減^{※2} を見込んでおり、この省エネルギー効果が評価され、「平成 28 年度地産地消型再生可能エネルギー面的利用等推進事業費補助金^{※3}」に採択されました。

当社は、今後も省エネルギー・省コストに資するエネルギーサービスのご提供を通じて、社会に貢献してまいります。

※1：2015 年度エネルギー使用実績に対する削減率。原油換算約▲2,400kL/年。

※2：2015 年度 CO₂ 排出実績に対する削減率。約▲4,800t-CO₂/年

※3：先導的な分散型エネルギーシステムの導入を支援する経済産業省補助金

以上